

Sawamoto Dental Office News

2017年6月号

紫陽花が大輪の花を咲かせる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
今月のSawamoto Dental Office Newsは「メンテナンス」について特集してまいります。



●その治療に責任をもちたい。だからメンテナンスにおいでください！

もしかして、こんな経験ありませんか？

歯周病が再発！？

次々にむし歯が！？

歯周病は、進行すると歯を支えている骨が溶けて失われ、治療をしてもなかなか元に戻りません。歯周ポケットもいったん深くなると、放ったらかしにしているのは汚れが溜まって炎症が起きやすくなってしまいます。

むし歯を治療すると「むし歯が治った」といいますよね。でも本当でしょうか。詰め物や被せ物は失った部分を補う装具。風邪が治れば元通りになるのとは違います。むし歯の穴は一度開いたら元には戻らないし、歯質が減る分、歯が弱くなってしまいます。

だからこそ「予防すること」が大切なのです！

●メンテナンスってなにをするの？

お口の中の健康診断のほかに、歯や歯ぐきをすみずみまでクリーニングし除菌します。患者さんに合ったセルフケアや間食のコツをお教えします。歯がツルツルになり、お口のなかのスッキリして気持ちがいいですよ！



メンテナンスの内容や、何ヵ月おきにおいでいただくかは患者さんのむし歯や歯周病のリスクによって変わります。効果を実感していただくには続けることが大切なので、仕事や学校、育児、介護などのご都合も含めて遠慮なくスタッフにご相談ください。

●むし歯が次々できてつらい。

★詰め物・被せ物の周りはむし歯に要注意！

詰め物や被せ物の周りは、削ったことのない健康な歯に比べむし歯に弱ってご存知ですか？歯と被せ物の継ぎ目には、どんなに上手に治療をしても、ミクロの目で見るとギャップ（段差）があり、そこにプラーク（細菌の塊）がたまりやすいからなんです。「被せ物が入ればもう大丈夫」と油断せず、定期的なメンテナンスで大切な歯を守りましょう。



●メンテを中断、歯がグラグラに。

★歯周病の再発に要注意！

歯周病が進行すると、深い歯周ポケットができますが、問題は、治療して炎症が治った後も歯周ポケットはなかなか浅くならないということなんです。放っておくと、歯ブラシの届かない歯周ポケットの奥に歯石やプラークが溜まって炎症が再発し、重篤になりやすいのです。歯を失わないためには、定期的に歯周ポケットのなかをきれいにして再発を予防しましょう。

歯周病はこんな風に進行します。



「治療の必要な所が次々できて不安だ」「治療がつらくて歯医者さんが苦手」そういう方こそ定期的なメンテナンスを！治療を受けるための歯科医院から、気持ちよくて楽しい歯科医院へ。私たちと一緒に病気を減らすお口の環境づくりをはじめませんか？

